

はまゆす

2019年冬

川野

がいそう 咳嗽(咳)の話

土崎病院 院長 小野 栄二

(1) 咳嗽とマスク

咳嗽は洋の東西を問わず患者さんが医療機関を訪れる時の最も多い症状の一つです。咳嗽が出る原因は沢山ありますが、最も多い普通感冒から肺癌などの重大な病気にいたるまで様々です。原因はともあれ咳嗽は大きなエネルギーを消費させ疲労を来します。特に強い咳嗽は胸部や腹部にゆさぶりがかかり、腹痛や腹筋の筋肉痛をきたすことがあります。場合によっては咳嗽によって肋骨骨折すら発症することがあります。

咳嗽は一つの症状ではありますが他の症状とは少し違う点があります。それは咳嗽の原因の中には感冒やインフルエンザ、百日咳、肺結核などの感染症があり咳嗽によって周囲の人々に感染させてしまう恐れがあることです。もちろん感染症で咳嗽があったとしても全てが他人に感染させるものではありませんが、どのような咳嗽かは医療機関を受診して診断がつくまでは本人も分かりません。とりあえず咳嗽のエチケットとしてマスクをしましょう。周囲の人は咳嗽の出ている人には何はともあれ近寄りたがらません。やはり何か病気を移されるのではないかと心配されるのはしかたありません。どこかに行った時にゴホンゴホンを咳き込んでいる人の隣の席には座りたがらないのも人情でしょう。他人にはどのよ

うな咳嗽かは分からないですから、せめてマスクをするのがエチケットなのです。

感染症による咳嗽について述べてきましたが、もちろん感染症に無関係な咳嗽も沢山あります。喘息、肺癌、アトピー性咳嗽、間質性肺炎、薬剤性咳嗽などいろいろあるのですが、しかしながら咳嗽は咳嗽。周囲の人には区別がつかないので本人にとっても他人にとってもやっかいな症状なのです。ちなみに咳嗽がどのようにして発生するかについては現在のところ完全には解明されていません。

(2) 咳嗽の持続期間と原因疾患

咳嗽の持続期間は原因疾患により異なることが多いため3週間以内の急性咳嗽と3~8週間の遷延性咳嗽、更に8週間以上の慢性咳嗽に分けて診断・治療の参考にしております。急性咳嗽は多くの場合、急性の呼吸器感染症であり長期になるにつれて非感染性疾患の可能性が高くなりますが、肺結核のように長い間、咳嗽が続き検査をしたら肺結核であったというような慢性の感染症であることもあります。

いずれにしても、急性咳嗽から慢性咳嗽にいたるまで、その原因も軽微な病気から重大な病気にいたるまで様々な病気が存在することになります。

第95号

平成31年
3月 発行

書もまた楽し



その
9

土崎病院友の会会長 藤原 毅

今年は、近年では珍しい程、安定した天候の初春でした。皆様もよいお正月をお過ごしになられたことと存じます。今年は、初春の天候のような安定した一年でありたいですね。

文房四宝（書の筆、墨、硯、紙）説明などを主体にスタートした「書もまた楽し」も今号でその9を数えることとなりました。今号は、今年の干支文字、亥又は猪のつく用語や亥猪に関する故事ことわざのほんの一部に加えて6号から12年ごとに巡ってくる「亥年」の流行語と出来事（明治8年から平成年まで）7などについて適宜述べます。また亥年生まれの方（一部）を紹介し、思い出に資したいと思います。

今年は「己亥（つちのとい）」です。亥は十二支の12番目、方位は北から30度西の北北西の方角、時刻は現在の午後8時頃、またはその前後2時間を作亥の刻と呼ばれております。月は旧暦10月、動物は猪が充てられております。因に東の方位は卯、西は酉、南は午、北は子となります。

ここで文字に関するクイズをいたします。下の二つの図は古代文字です。どう読み、どう書いた文字でしょうか。ヒントは二つの文字は同じ読みをすることがあります。答えは次回の発行誌に載せさせて頂きます。

文字クイズ
どう読み、どう書いた文字でしょう？



◎亥・猪のつく用語・古学・諺

「亥の子（いのこ）」陰暦10月の亥の日。新暦では11月の13日頃。江

戸時代にはこの日から炬燵を開いて、亥の刻に「亥の子の祝」亥の子餅を食べる祝いが行われたという。「猪の子雲（いのこぐも）」猪の子どものようにまだらで種々の色をした雲。「猪の子突（いのこづき）」狩人が猪を仕留めたときに、集まって猪の四足を捉えて胴上げすること。「猪武者（いのししむしゃ）」前後の考えもなく無鉄砲に敵に突進する武者。「猪口才（ちょこざい）」小賢しくて生意気な者を卑している。「猪勇（ちょゆう）」向こう見ずの勇気。「豕（いのこ）を抱いて臭きを知らず」豕は猪の古称。自分の欠点や醜さは自分ではなかなか気づきにくいことのたとえ。「豕を憎みて臭きを愛す」大元を憎んでいるのにそれから派生する事柄には寛大である。不合理で一貫しない考え方のたとえをいう。

◎亥年の流行語と出来事など。

1875年（明治8年）

（出来事など）横浜と上海間の航路が開始した。ロシアと樺太千島交換条約調印、英公使が小笠原諸島を日本領として承認した。東京—青森—津軽海峡—北海道の電信線が完成了。当時、洋書の翻訳料（10行、20字）は1円、同直訳料は25銭であった。

（流行語）「巡査」邏率に代わる職名として東京で統一され、その年の秋には全国的に改称された。「おまわりさん」巡査の別名として使われた。「社会」ソサエティーの翻訳語としてできた新語。（この年に生まれた人）柳田国男（民俗学者）、長谷川如是閑（評論家）、上村松園（日本画家）など。

1887年（明治20年）

（出来事など）鹿鳴館で仮装舞踏会が開催され、世論は欧化主義と非難した。4月のついたちだけウソについてもいいという欧米の「4月馬鹿」の風習を郵便報知が紹介した。電信局が海外電報の取り扱いを開始した。自転車、トランプ、花札、カルタ、ショールが流行。銀座煉瓦街の街路樹の柳への植え替えが終わり「銀座の柳」が完成した。従来は主に観賞用に栽培されていたトマトが、この頃から食用品として扱われる始める。

（流行語）「鹿鳴館時代」洋式の大社交場として建てられた鹿鳴館でワルツを踊る仮想舞台が毎夜のように開催され、欧化をめざす種々な改良運動を誘発した。（生まれた人）中山晋平（作曲家）、片山哲、芦田均（以上政治家）、山本有三（作家）など。

1899年（明治32年）

（出来事など）東京一大阪長距離電話が開通した。日英通商航海条約が発効した。「反省雑誌」の題を「中央公論」を改題した。最初の日本製映画を公開した。節米社は駒田好洋、入場料は上等50銭、土間20～30銭。東京で初のビヤホールが開店（7月）。値段は半リーテル（リットル）10銭、4半リーテル5銭。年賀郵便の特別取扱制度が実施された。ショールや三つ折り抱えカバンが流行した。

（流行語）「ビヤホール」ビール専門店が銀座に開店して大好評となった。「弁士」流動弁士、略して流弁といった。

（この年に生まれた人）池田勇人（政治家）、宮本百合子、川端康成、尾崎一雄（以上作家）、田河水庖（漫画家）、大辻史郎（漫談家）、萩原朔太郎（詩人）、笛川良一（日本船舶振興会会长）など。

1911年（明治44年）

（出来事など）速達郵便が開始。改正日米通商航海条約が実施された。関税自主権が確立、日仏通商航海条約が調印された。警視庁特別高等課が設置された。下関一門司間貨車

航送が開始された。夏目漱石が博士号を辞退した。帝国劇場が開場、東京市電気局による電車経営が開始、生糸生産高が中国を抜いて世界第一位になる。毛皮のオーバー、ラクダの帽子が流行した。

（流行語）「元始女性は太陽であった」新しい女に目覚めた女性たちで発刊した女性雑誌「青踏」の巻頭に掲げた宣言文。

（生まれた人）岡本太郎（画家）、日野原重明（医師）、藤山一郎（歌手）、椎名麟三（作家）、北林谷栄（女優）。

1923年（大正12年）

（出来事など）東京駅前に丸の内ビルディング（地上8階、地下1階）が竣工した。関東大震災が発生し、死者行方不明が14万2,807人全棟消失57万5,394戸の大惨事となった。京浜地区に厳戒令が敷かれ、朝鮮人暴動の流布が広がり、市民の自警団による朝鮮人虐殺がはじまった。「文藝春秋」「エコノミスト」が創刊されたほか荷物運びに便利なリヤカーが流行した。松下電器具製作所が砲弾型の乾電池式自転車ランプを発売した。

（流行語）「流言蜚語」大震災のとき、いろいろなデマが流れ飛んだ。それを信じたために悲喜劇が各所で起きた。「この際だから」震災被害を受けた人達が、復興を目指して立ち上がった時の合言葉だった。「厳戒令」「救護班」「自警団」「配給品」「暴利取締り」「避難民」「帝都復興」「玄米」「すいとん」「バラック」「仮建築」これらの言葉は大震災を契機によく使われた。

（生まれた人）三國連太郎（俳優）、大山康晴（棋士）、千宗室（茶道裏千家家元）、司馬遼太郎、佐藤愛子（以上作家）、三波春夫（歌手）、白井義男（プロボクサー）、渡辺美智雄（政治家）

※記事の続きは次回の発行誌に載せさせて頂きます。

フラワーアレンジメントの魅力

医療法人運忠会 理事 後藤 京子



土崎病院1階受付のカウンターに飾ってあるフラワーアレンジメントをご覧になった事はありますか？

「フラワーアレンジメント」とは日本のいけばなどは違い、ヨーロッパの花文化であり、花・枝・葉・実などを素材とした造形表現の事を言います。

フラワーアレンジメントは他にも、贈り物で皆さんにもなじみのある花束や、花嫁さんのブーケ、テーブルの装飾、花かんむり、オブジェや大がかりな空間ディスプレイなど、フラワーデザインは多岐にわたっています。

病院内では長持ちする観葉植物がインテリアとして好まれますが、季節を彩る鮮やかな花々は、たとえ1輪でも癒しやリフレッシュなど、気持ちを和ませ心を豊かにしてくれる効果が得ら

れると言われているのが魅力でもあります。

花も生き物ですので、同じものをいつまでも飾る事はできません。だからこそアレンジメントを通して、短く贅沢な花の癒しの時間を感じていただきたい、そう思って飾っております。

土崎病院1階、しおさい、どちらも定期的に飾っておりますので、いつも通り過ぎる方もカウンターの方へ少し目を向けてみてくださいね。



今回紹介しきれなかった他の作品を、土崎病院ホームページの広報誌・友の会ページでご紹介します。



URL
<https://www.tsuchizakihp.or.jp/about/kouhou.shtml>

○ 医療法人 運忠会
土崎病院 病院長 小野 栄二
TEL : (018)-845-4121

内科・外科	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:00 ~ 12:00	●	●	●	●	●	(第2・4)	/
午後 14:00 ~ 17:00	●	●	●	●	●	/	/

外科の診察は午後予約制です。また水曜午後は休診です。

心療内科	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:00 ~ 12:00	/	/	●	●	/	/	/

泌尿器科	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:00 ~ 12:00	/	/	●	●	/	/	/

皮膚科	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:00 ~ 12:00	/	●	/	/	/	/	/

4月以降は火曜午前・金曜午前の週2回の診療となります。

歯科	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:00 ~ 12:00	●	●	●	●	●	●	/
午後 14:00 ~ 18:00	●	●	●	●	●	●	/

禁煙外来	月	火	水	木	金	土	日
午後 14:30 ~ 16:30	/	/	/	●	●	/	/

禁煙外来は予約制です。018-845-4121までお問い合わせください。

第19回 運忠会研究発表会を終えて

図書研修委員会 土崎居宅介護支援事業所管理者
加藤 志美

平成30年10月5日に第19回運忠会研究発表会が行われました。今年もお忙しい中、関連法人の秋田緑ヶ丘病院、三楽園、あまさぎ園、広洋苑の職員にも参加頂きました。

演題は、7題と高橋薫なぎさ施設長による教育講演でした。

発表1は事務部庶務課から、業務改善のための取り組みにより、経費削減や業務の負担軽減、時短に繋げた報告でした。この効果により定時で帰宅できるようになったと話されていた事が印象的でした。

発表2はヘルパーステーションから、ヘルパーとして出来る健康管理について足浴の効果を検証した報告でした。

発表3はなぎさ通所リハビリテーションより昨年増改築し定員を増加したことに伴い、アンケートを通じ現状や今後の課題について分析しています。今後も選ばれる通所リハビリテーションとして、接遇等に力を入れていきたいと話されていました。

発表4では土崎病院3病棟看護部より昨年集団発生した疥癬について、職員アンケートを通して、発生について振り返りました。職員の対応を振り返る事で、再発時に適切な対応が図れると思われます。

発表5ではなぎさ療養部より適正体重を超える利用者に対し、適正体重への取り組みについて報告されました。他職種と連携を図る事で結果を出すことが出来ており、連携の大切さを感じる事が出来ました。

発表6は検査科より輸血療法に伴う事故防止について、輸血バックの外観の違いなど写真を交えて報告されました。安全な輸血のための取り組みを理解することが出来ました。

発表7は安全管理委員会より発足18年間のまとめの報告がありました。電子カルテを導入後の医療事故やヒヤリハットの数を比較し、今後も減らすことが出来るよう取り組んでいく必要があると感じました。

教育講演では高橋薫なぎさ施設長よりアルツハイマー病が発見されてからの治療の状況や治療薬について説明がされました。診断を受ける20年前位からすでに変化が見られているという事に驚きました。肥満に気を付けるなど出来る事に取り組んでいかないといけないと感じました。

日々の業務の中、研究への取り組み、発表にむけて準備することはとても大変だと思います。しかし研究したことによって業務を見直し、患者さんや利用される方々に対するケアを改善するきっかけにもなるのではないかでしょうか。今後もより良い医療やサービスの提供、また職員として仕事のしやすい職場作りに取り組んでいきたいと思います。



しおさい周年祭を終えて

サービス付き高齢者向け住宅しおさい 介護福祉士
小山内 琢磨

平成30年10月21日にしおさい周年祭を開催致しました。早いものでしおさいは入居者様やご家族様をはじめ、関係各所の皆様の協力のもと無事に三周年を迎えることができました。今年もたくさんの入居者様やご家族様に参加して頂き、周年祭に向けて準備を進めてきた周年祭実行委員や職員は大変嬉しく思いました。昼食会では周年祭開催の乾杯を行い、豪華な祝い膳を入居者様同士、交流を深められながら堪能されており、祝い膳のメニューも大変満足して頂けたと感じました。

午後の芸能披露では介護老人保健施設なぎさ施設長高橋薫先生と職員による凸凹バンドの演奏を披露して頂きました。懐かしい曲から誰もが知る名曲まで様々な曲を演奏して頂き、会場の入居者様やご家族様は歌声や楽器の演奏に聴き入ったり、一緒に歌ったりと思い思いに楽しまれておりました。続い

てナーサリー土崎様の園児に踊りを披露して頂き、元気な子供たちの歌や踊りひとつひとつが可愛らしく、見学された園児の保護者様をはじめ入居者様やしおさい職員も自然と笑顔がこぼれ、癒される時間を過ごすことができました。

そして周年祭の最後を飾るのは一周年祭から恒例のしおさい合唱部による合唱発表です。一周年祭から参加されている入居者様も多いのですが、練習する時間を使うように取れず、練習不足も否めなかつたのですが、合唱部の入居者様は想像以上の歌声でご家族様や職員に感動を与えてくださいました。また、入居者様としおさい職員が日頃から行っている趣味活動から手芸や創作などの作品を展示することでご家族様に喜んで頂き、入居者様も作品の出来栄えに大変満足されている様子でした。周年祭は小規模ではありましたが、ご家族様をはじめ芸能披露のボランティアの皆様のご協力もあり無事に終了することができました。ありがとうございました。今後も皆様方のお力添えを頂きながら更なる発展と感謝の気持ちを忘れず入居者様により良いサービスを提案できるように頑張っていきたいと思っております。

第29回全国介護老人保健施設大会に参加して なぎさ療養棟3階 大倉 淳利

10月17・18日の日程で開催された、第29回全国介護老人保健施設大会に参加してきました。今年は埼玉県大宮での開催で、大宮駅西口より歩行者デッキから行ける「ソニックシティホール」「パレスホテル大宮」の2か所で行われました。会場に入ると、全国各地から医療・福祉の従事者が一同に集結しており、医療・福祉にかかわる人の多さに驚きを感じました。

最初に、福祉・医療機器展へ向かい、介護ロボット・移乗アシスト機器の実演を見学しました。介護をする人が専用のシートに介護機器の一部を通して、スイッチで操作するだけでベッドから車椅子間の移乗はすべてロボットが行うものでした。実演のあと、ロボットメーカーの職員から安定性、安全性について優れているところや、現場での実用化に向けての説明がありました。

次に、シンポジウム演題「老健が中心となる地域づくり」を聴講いたしました。岐阜県各務原市の社会福祉法人が主催している地域リーダー育成プロ

グラム、「生涯現役俱乐部」で活動されている民生委員から、その活動の一部について報告がありました。シニアクラブ、デイサービスの利用者、福祉NPO法人代表、民生委員といったメンバー構成で、2025年に団塊の世代の方々が後期高齢者となる超高齢化社会に備え、地域の医療・介護の在り方を学び、地域高齢者の実情を踏まえ事例検討やマイプロジェクトを作成し、地域貢献活動を展開していくことで参加者の社会自立度を上げて、地域の高齢者が元気で健康にすごして行こうという取り組みでした。

リスクマネジメントに関する演題発表では、インフルエンザやノロウイルスといった感染症に対する予防方法や、拡大防止対策について環境整備や実施結果の内容について発表がありました。発表後は演者と聴講者の間で熱意あふれる質疑応答が繰り広げられ、感染症予防・拡大防止に対する関心の深さを感じされました。

最期に、このたび全国老人保健大会に参加させていただき、全国の老人保健施設で行われている取り組みをうかがうことができました。当施設で取り入れるものがないか検討し、実践に繋げたいと考えております。充実した2日間を過ごすことができました。

編集後記

最近、「平成最後」という言葉をよく耳にしますが、はまなすも平成最後の発行となりました。寒い冬が続き、体調を崩しやすい時期です。十分な休養とバランスの取れた食事を心掛け、平成最後の冬を乗り切りましょう。

(石井)

